

大田昌秀さんを語るシンポジウム



平成29年6月12日に93歳でお亡くなりになった久米島町出身で元県知事の大田昌秀さんを語るシンポジウムが6月22日、那覇市の沖縄県男女共同参画センターで開かれました。

シンポジウムでは、前沖縄大学学長の仲地博さんが基調講演し、大田さんの人柄や交流エピソードの他、米軍基地問題で日米政府と戦い、地



第2部パネルディスカッションの様子

方分権の確立を訴えつづけた業績について語りました。第2部では、大田さんの遺志を後世へ継ぐことは重要とし、パネルディスカッションを行いました。パネリストに元沖縄県生活福祉部長の大城貴代子さん、アーキビストの仲本和彦さん、ジャーナリストの長元朝浩さん、沖縄国際大学教授の前泊博盛さん、コーディネーターにはフリーアナウンサーの崎山律子さんを招き、大田さんの業績について議論を深めました。議論の中でも大田さんが強く願っていた「恒久平和」の話もありシンポジウム参加者らと大田さんの遺志を強く確認しました。

大田さんが知事在職中、米軍基地問題を巡って、95年に起きた米軍兵拉致暴行事件を契機に、基地の整理・縮小や米軍の処罰に関する日米地位協定の改定を訴え続けていました。その中で、地主が米軍用地の使用を拒み、国が米軍用地強制使用手続き（知事代理署名）の協力を行いました。大田さんはそれを拒否し、国と沖縄県の最初の裁判に発展しました（沖縄代理署名訴訟）。沖縄の平和を願い、国に抵抗したのが事大主義克服のはじまりとしています。

開催決定！

琉球古武術中興の祖 平信賢先生顕彰

琉球古武術・空手術演武大会

令和元年11月17日、琉球古武術保存振興会主催の第6回琉球古武術・空手術演武大会の開催が決定しました。本大会は琉球古武術保存振興会の創立80周年記念にあたる国際的な大きな大会で、日本を含めて15カ国、およそ250名が久米島町に来島する予定です。

同会は平成25年に登武那覇近くに平信賢先生の顕彰碑を建立しており、平成27年に、平信賢先生の生誕の地である久米島町で平成31年に大会を開催すると大田町長へ報告し、今年の11月に開催する運びとなりました。



平信賢先生（故人）は、字真謝出身の空手家・琉球古武道家で、沖縄各地に残存埋没する武器術の形の収集を努めるとともに、沖縄や本土各地で指導・演武を通じて琉球古武道の保存と振興に尽力された方です。

日時 11月17日（日）
午後1時～5時

場所 ホタルドーム

内容 琉球古武術形と組手の演武、各国空手各流派演武、琉神と球美若獅子太鼓による演舞

入場無料
ただし、撮影禁止



ホテル・飲食店・お土産品店・タクシー・レンタカー・観光施設等事業所ならびに島民へお願い

町では受入・誘致実行委員会が立ち上げました。250名あまりの外国人が久米島に訪れ、4泊5日滞在する予定です。英語表記など、ご配慮いただきませう、よろしくお願い致します。

また、島内ツアー企画の通訳ボランティアを募集致します。詳細は実行委員会事務局 仲宗根までお問合せください。

☎98517121
(役場総務課内)

